

The 2 Chome Times 平成27年4月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO203.

2015・4・25.

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス4月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明

http://www.centergai2.com E-mail:centergai2@nifty.com

★氏神さん生田神社の春祭りです

私達三宮の氏神さん、生田神社の春祭り（生田祭）が4月15日・18日の2日間賑やかに行われました。今年のお祭は葺合地区（大安亭市場・国香通・神若通・二宮市場・国体道路・HAT神戸・御幸通）のご奉仕当番により行われました。

18日の神幸祭には、500名にもものぼる行列が巡行されました。特にこの葺合地区は旧葺合区全体が奉仕地区となっており生田神社の春の大祭11奉仕地区の中でも一番広大な地域でもあります。

また本年はKOBE三宮・ひと街創り協議会のメンバーでもある神戸国際会館様が構えておられる御幸通を戦後初めて、お神輿が練られ、通りの皆様も興奮気味に声援を掛けながらご覧になっていました。同じく18日の午後5時頃からはHATENAインフォメーションセンター前にて三宮地区神受所祭（三宮地区繁栄祈願）が行われ、その様子を一目見ようとギッシリの人ばかりでした。街の氏神様のお祭りが大成功に終わり、これからも街を見守ってくださることでしょう。

★ストリートミュージアム作品收藏除幕式

4日（土）にセンター街2丁目ストリートミュージアム第10作目となる作品、木彫刻「虹色浮遊像」の收藏式が執り行われました。作者は神戸に縁があり、センタープラザテナント会 会長の甥御様にあたる新進気鋭の作家、一井弘和氏です。式には神戸市から岡口副市長、田上中央区長、松崎神戸空港ターミナル社長、新居全日本空輸執行役員、そして児童養護施設の関係者の方々など、お名前を全てはご紹介できませんが、本当に多くの方がご参集下さいました。除幕式のあと、主催者であるセンター街2丁目の久利理事長が御挨拶の中で、

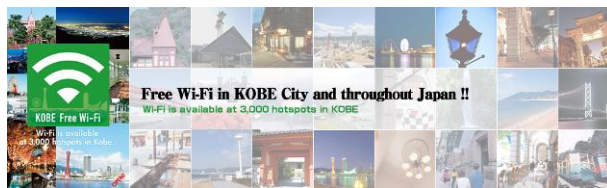


阪神淡路大震災からの復興に「アート」をその中心にした経緯などを述べられました。そして、一井氏に感謝状と記念品の贈呈が行われた後、一井氏から御挨拶の言葉があり、岡口神戸市副市長からもお祝いの言葉を頂きました。作品はタイムズでもご紹介した通り、色も鮮やかな木刻像で、お洒落なストリートに華やかさを与えてくれているようです。一井先生、そして関係者の皆様、本当にありがとうございました。



★KOBE Free Wi-Fiのお知らせ

スマートフォンやタブレットなどがこれだけ普及している現在ですが、国外でも自由にインターネットが使えれば便利ですね。神戸には多くの海外からの観光客が来られており、その方達に自由にインターネットにアクセスして頂けるサービスが既に始まっています。皆様も店頭に立っておられて、時折、海外からの観光客からインターネットにアクセスできる方法はないのかとお訪ねされる事もあるのではないのでしょうか。神戸市が進める外国人専用の公衆無線ランサービスはその様な要望に応えるために実施されています。残念ながら、日本に在住している方々はその対象になりません。先程、「外国人専用」とお伝えしましたが、日本人でも海外に在住されておられる方々はその対象になります。三宮インフォメーションコーナー、HATENAやホテル、神戸市総合インフォメーションなどでも取扱



いをしており、その有効期限は1週間です。対象になる方のパスポートか海外からの旅行者を示すドキュメントがあれば、パスワードとIDなどの情報をお教えすることで、国内のインターネットサービスが活用可能になります。海外からのお買い物客様に尋ねられたら教えてあげてくださいね。

お問い合わせ窓口 (日本語対応) Wi2 カスタマーセンター 0120-856-306 (10:00~19:00)
(英語対応) Wi2 カスタマーセンター 0120-858-306 (10:00~19:00)

★港で出会う芸術祭 神戸ビエンナーレ 2015

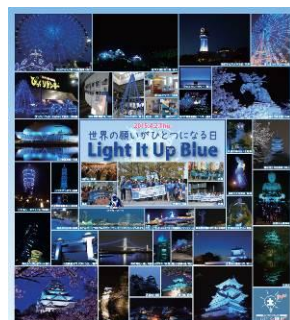
ザ・ファーストの勉強会で2年に1度の神戸ビエンナーレ 2015 の勉強会が7日(火)に行われました。その言葉の意味はイタリア語でそのまま「2年に1度」という意味であり、神戸ビエンナーレは阪神・淡路大震災がきっかけで、「文化芸術は人の心を癒し、心を豊かにする」という考えからスタートしました。神戸だけではなく、全国的にこの芸術祭の動きが広がっています。今年の神戸ビエンナーレは9月19日(土)~11月23日(月・祝)まで行われます。その特色を以下に御紹介しましょう。

- ・都心のオアシス「東遊園地」を新たに主会場に加え、「アートインコンテナ」をはじめとした夜間の作品展示をおこなう。
- ・過去4回のコンペティションで入賞し、国内外で活躍するアーティストの作品を展示する。
- ・一人一人が学び、知識・経験を活かして、神戸ビエンナーレに参加し、共に創り上げていく「神戸ビエンナーレ CHEERS」を立ち上げる。

大きなテーマは「スキ。[su:ki]」になっていて、66日間の間、神戸市内のメリケンパーク・ハーバーランドエリア・東遊園地・フラワーロードエリア・ミュージアムロードエリアで多彩に繰り広げられます。催行はまだ少し先ですが、楽しいイベントですので、この先も新たな情報が入り次第、お知らせします。

★オーティズム (自閉症) 啓発運動

昨年も御紹介させて頂きましたが、ことしも世界的なオーティズムの啓発運動が4月2日(木)に行われたのに先駆け、NPO法人「あっとオーティズム」が中心となって、3月28日(土)の15時より、三宮センター街でHATENA前にて世界自閉症啓発デー・ライト・イット・アップ・ブルー開催のちらしや理解を求めるパンフレット、缶バッジ、ブルーキャンドル、ブルー風船等の配布が行われました。自閉症は目にははっきり分かり難い障害で、それゆえ「自閉症」という言葉は知ってはいても、その内容は深くは知らないのが一般的です。そのため「自閉症」をもっと広く人々に知ってもらい社会全体で受け入れて行きましょうというのが趣旨になっています。その啓発運動の象徴的なカラーがブルーで、4月2日には全世界で一斉にランドマーク的な建物がブルーにライトアップされました。日本では神戸がこの運動の発祥の地になっており、5年目になります。改修工事の終わったばかりの姫路城、ホテルオークラ、明石大橋など多くの建築物がブルーにライトアップしました。この運動は今後も継続して行われていきますので、皆様の御協力と御理解をよろしくお願いいたします。



★編集後記

今回、ストリートミュージアムに収蔵された「虹色浮遊像」には一井氏の素敵な思いが表現されているとお聞きしました。それは「遙か宇宙からやってきた太陽光が地球の水滴と出会い、虹色を生み出す様に、この神戸でそれと同じくらい奇跡的な出会いが沢山生まれ、沢山の素敵な虹がかかる事を願う気持ち」が込められているのだとか。そう言えば以前ご紹介しましたが、収蔵作品の一つである「ホワイトカナイ」像の前でも取材に来られていた異なる新聞社のお二人が出会い、ご結婚にまで至られたことがあります。この「虹色浮遊像」もきっとその様なマジカルパワーを持っていても不思議ではありません。これから春本番です。すてきな出会いが多く生まれるでしょうし、センター街2丁目がそのパワースポットとして有名になっていくかもしれませんね!